

平成 27 年 1 月 28 日

ミュージックカードの合算集計の終了について

オリコン・リサーチ株式会社
代表取締役 佐藤 直也

弊社発表の音楽ランキングにおいて、従来、ミュージックカードを一定の条件の下に合算集計して参りましたが、以下理由によって、合算集計しない方針に変更致します。

<従前の集計方針について>

新たな音楽メディアとして、多くの作品がリリースされていたことから、次の条件を満たした場合に、CD と同様に合算集計してきました（平成 24 年 12 月 5 日以降）。

- ① 合算集計可能な CD が発売されていること
- ② CD 同様に JAN コードが付与されていること
- ③ 販売データが、客観的、且つ、信頼できること

<今後の集計方針について>

ミュージックカードは、これまで、音楽パッケージ商品の多様化に伴い登場した新たな音楽メディアとして、多くの作品がリリースされていたことから上記条件の下に、CD と同様に合算集計していました。

しかし、ミュージックカードを「オリコンランキング」に集計することについては、批判的な意見が増加してきていました。これらは、誤解に基づくものも少なくありませんでしたが、弊社としても「音楽のヒットを正確に伝える」という弊社の使命に照らして検証を継続してまいりました。

結果、弊社がミュージックカードの代表作をピックアップして検証したところ、①ミュージックカードによるダウンロード率は「音楽パッケージの販売」と認定するにはその数字が低すぎる、②CD より安価な設定の上、複数枚のまとめ買いを誘引する作品など、社会通念上、独立した一枚のヒットとは言い難い作品も散見され、且つ今後も同様な発売企画が進行しているなどの問題点を認識しました。

このように、ミュージックカードは商品として販売されていることは確認できるものの、ミュージックカードを「オリコンランキング」に合算集計することは、ランキングの妥当

性及び一般的な社会通念に照らして、相当ではないと考えざるを得ません。

更に、今後も多様な販売方法が考案され、このような状況が広がる可能性は否定できないと考えられ、「音楽のヒットを正確に伝える」という弊社の使命に照らし、看過することはできないと判断するに至りました。

以上の通り、弊社は、平成 27 年 4 月 6 日をもって、ランキング集計の方針を変更し、ミュージックカードは販売方法にかかわらず、「オリコンランキング」合算集計しないことと致します。

<過去のランキングについて>

この度、上記の通り、ミュージックカードは合算集計しないと方針を変更することといたしましたが、過去の集計を変更することは、混乱を回避するため致しません。

<変更開始時期について>

平成 27 年 4 月 6 日付 デイリーランキング以降